



第3回 「日本学術振興会 育志賞」受賞候補者推薦要項 (平成24年度)

1. 趣旨

日本学術振興会(以下「本会」という。)は、天皇陛下の御即位20年に当たり、社会的に厳しい経済環境の中で、勉学や研究に励んでいる若手研究者を支援・奨励するための事業の資として、平成21年に陛下から御下賜金を賜りました。

このような陛下のお気持ちを受けて、本会では、将来、我が国の学術研究の発展に寄与することが期待される優秀な大学院博士課程学生を顕彰することを目的として、平成22年度に「日本学術振興会 育志賞」を創設しました。

2. 対象分野

人文・社会科学及び自然科学にわたる全分野

3. 授賞

授賞数は16名程度とし、受賞者には、賞状、賞牌及び副賞として学業奨励金110万円を贈呈します。

4. 対象者

平成24年4月1日現在34歳未満であり、次の①又は②に該当する者であって、平成24年5月1日において我が国の大学院博士後期課程(医学、歯学又は獣医学を履修する4年制の博士課程を含む)に在学している下記のいずれかの条件を満たす者

- ① 大学院における学業成績が優秀であり、豊かな人間性を備え、意欲的かつ主体的に勉学及び研究活動に取り組んでいる大学院生であって、当該大学長から推薦された者
- ② ①に相当する大学院生であるとして所属する学会長から推薦された者

なお、推薦に当たっては、論文等の業績のみにとらわれず、将来、我が国の学術研究の発展に寄与することが期待される優秀な者を推薦願います。

また、海外からの留学生で大学院博士後期課程に在学する者についても、推薦することができます。

5. 推薦権者

1) 我が国の大学の長(大学長推薦)

推薦数：人社系、理工系、生物系各1名の計3名まで

※学際領域については、上記いずれかの系でご推薦願います。

2) 我が国の学術団体の長(学会長推薦)

推薦数：1名まで

※学術団体については、日本学術会議協力学術研究団体となっている学術団体に限ります。

また、自薦は受けません。

6. 推薦手続

1) 提出書類

- ①「受賞候補者推薦名簿」—————原本1部（様式1）
- ②「推薦書」—————原本1部、写し2部（様式2）
- ③「推薦理由書A、B」*注1—————それぞれ原本1部、写し2部（様式3）
- ④「研究の概要等」—————原本1部、写し2部（様式4）

注1：③は、推薦者以外に、研究指導者及び候補者の研究を理解している研究者の2名から、それぞれ作成いただくものです。

2) 応募方法

(i) 候補者毎に、②～④を片面印刷し番号順に1部ずつ重ねて、左上をホチキスでとめてください。

(ii) ①を表紙とし、そのリスト順に(i)をセットして提出してください。

7. 受付期間

平成24年6月13日（水）～6月15日（金）（必着）

8. 選考方法

推薦のあった候補者について、日本学術振興会に設置する選考委員会において、書類選考により面接選考対象者を決定し、面接選考を経て受賞者を決定します。

9. 選考基準

学業成績が優秀で、豊かな人間性を備え、意欲的かつ主体的に勉学及び研究活動に取り組んでおり、次の①又は②を満たすこと。なお、選考に当たっては、機関長からの「推薦理由」（様式2-①）及び推薦理由書A・B（様式3-①・②）を重視します。

- ① 我が国の学術研究の将来を担う研究者となりうる卓越した能力を有しており、将来学界等への貢献が期待されること
- ② 将来、更なる研究の発展が見込まれ、卓越した研究者に成長していく可能性を有していること

※ 上記①、②に該当する者の例

- 発想・着想、課題設定などにおいて、創造性・独創性が高い研究に主体的に取り組んでいる者
- 当該学問領域や学際領域における重要な基盤となる研究に主体的に取り組んでいる者
- 研究活動に関連する、ユニークな活動に主体的に取り組んでいる者
- きびしい研究環境の下でも創意工夫を凝らして、主体的に研究を進めている者
- 短期的には論文等の成果が出にくい研究に対して、忍耐強く取り組んでいる者

10. 選考結果の通知

選考結果は、平成25年1月下旬頃（予定）推薦者に通知します。

11. 授賞式

平成25年3月頃に行う予定です。詳細については、選考結果とともに受賞者に通知します。なお、受賞者の授賞式に出席する旅費は本会が負担します。

12. 受賞後の取扱い

受賞者は、希望により翌年度から特別研究員等に採用することとします。その場合、研究奨励金等が支給されます。

特別研究員等への採用を希望する者は、翌年度の4月1日の在学年次、学位の取得状況等に
応じた採用区分の特別研究員又は外国人特別研究員に所定の手続きを経て採用することとな
ります。既に特別研究員として採用されている受賞者についても、希望により前記と同様の
扱いを受けることが可能です。詳細については、受賞者に対して別途お知らせします。

なお、特別研究員または外国人特別研究員への採用に当たっては、原則として他のフェロー
シップ、研究費の助成等を受給することはできません。また、定められた規則等を遵守して
頂きます。

13. その他

- 1) 推薦書等は、所定の様式を使用してください。なお、推薦書等は本会のホームページ
(<http://www.jsps.go.jp/j-ikushi-prize/index.html>) よりダウンロードすることができます。
- 2) 推薦書等の提出後、その記載事項を変更または補充することはできません。
- 3) 提出された推薦書等は返却しません。
- 4) 選考結果に対する問い合わせには応じかねます。
- 5) 受賞者の氏名、所属等は公表されるのであらかじめ承知願います。
- 6) 受賞者には、我が国の学術の振興、本会の事業の充実等のため、協力を依頼することがあ
りますので、あらかじめ承知願います。
- 7) 推薦書類に含まれる個人情報については、「独立行政法人等の保有する個人情報の保護に
関する法律」及び本会の「個人情報保護規程」に基づき厳重に管理し、本事業や関連する本
会の業務遂行のために利用します。

14. 推薦書類の提出先及び問い合わせ先

推薦書類は下記へ、配達記録の残る方法での送付によって提出してください。

〒102-8472 東京都千代田区一番町8番地

独立行政法人 日本学術振興会

総務部 研究者養成課 「日本学術振興会 育志賞」担当

TEL 03-3263-0912

FAX 03-3222-1986

ホームページアドレス

<http://www.jsps.go.jp/j-ikushi-prize/index.html>

参考

I 第2回(平成23年度)日本学術振興会 育志賞について

1. 平成23年度(第2回)推薦状況

平成23年度(第2回)		
学 長 推 薦	学 会 長 推 薦	計 ^{※1}
93人(156人)	32人(52人)	120人(206人)

※1 重複推薦は1名で計上

※2 ()内は、前回の人数

2. 第2回(平成23年度)日本学術振興会 育志賞日程

推 薦 依 頼	平成23年3月24日
推 薦 書 受 付	平成23年6月15日～17日
予 備 選 考 (学術システム研究センター)	平成23年7月上旬～12月上旬
選 考 委 員 会	平成23年12月22日
受 賞 者 決 定 報 道 発 表	平成24年1月17日
授 賞 式	平成24年3月1日

II 過去の受賞人数

開催年度	受賞者数
第2回(平成23年度)	17名
第1回(平成22年度)	17名